

◇大学院 経済情報研究科 主要科目の特長

1 群（経済・金融・商業系科目）

科目	特長
産業組織研究 A	<p>産業組織論は、現実の産業を研究対象とする経済学の一領域で、ここでの研究成果は現実の競争政策や規制改革の理論的基礎を提供している。この授業では、テキストを輪読しながら、競争政策にかかわる諸問題(独占問題、カルテル・談合の弊害、合併の経済効果など)について理論的に考察するとともに、現実の競争政策の動向についてとりあげ検討する。</p>
産業組織研究 B	<p>競争政策は今日、自由主義経済体制において根本的に重要な経済政策と位置づけられている。この授業では、競争政策の理論的根拠について勉強するとともに、アメリカの反トラスト政策、日本の独占禁止政策をとりあげ、現実の独占問題や合併規制、カルテル規制をめぐる問題などを検討し、競争政策の方向性について考察する。</p>
地域政策研究 A	<p>人口減少・少子高齢化社会を迎え、地域をめぐる地域政策に注目が集まっている。この講義では、従来の地域政策の主体である地方自治体などの行政に加え、地域の経済やビジネス、生活を担っている企業、NPO、地域コミュニティーも視野に入れた多様な視点からの考察を行う。人口減少・少子高齢化をはじめ地域が抱えている課題を把握、分析し、評価した上で、有効な地域政策を提示できることを本講義の目的とする。</p>
地域政策研究 B	<p>この講義では、従来の地域政策の主体である地方自治体などの行政に加え、地域の経済やビジネス、生活を担っている企業、NPO、地域コミュニティーも視野に入れた多様な視点からの地域活性化政策の考察を行う。とりわけ、観光振興による地域活性化政策について多くの事例を取り上げ分析する。人口減少・少子高齢化をはじめ地域が抱えている課題を把握、分析し、評価した上で、有効な地域活性化政策を提示できることを本講義の目的とする。</p>

◇大学院 経済情報研究科 主要科目の特長

2 群（経営・会計系科目）

科目	特長
経営学研究 A	<p>激しい企業環境の変化の中で企業を存続させ、成長させていくためには企業戦略が不可欠である。この講義では基礎的な経営学の知識を踏まえ、特に事業戦略に焦点を当てていく。</p> <p>テキストの輪読やディスカッションを通じて、現代社会における具体的な現象を経営学的視点から捉える力を養う。戦略の理論については必要に応じて講義の中で取り上げていきたい。</p> <p>授業は基本的に輪読を進める。</p>
経営学研究 B	<p>多くの企業にとって経営のグローバル化は避けて通れない流れである。現代社会における企業経営を理解するために、この講義では国際経営を中心的課題として扱う。</p> <p>内容としては、経営管理論と組織論を基礎に置きながら多国籍企業(グローバル企業)に関する議論の流れを理解し、国際経営戦略およびマネジメントの基本的理解を深める。</p> <p>授業は基本的に輪読を進める。</p>
地域計画研究 A	<p>国土の均衡ある発展を目指した地域開発や国土開発計画の概要についての内容をもった山崎朗氏の著作、及び明治以来のインフラ整備が土木国家の思想の背景にあり、その歪みを指摘した本間義人氏の著作を輪読する。</p>
地域計画研究 B	<p>地域計画に必要な手法である空間分析について、空間分析の意義や分析手法などを理解する。学ぶ。なお実際に、メッシュデータを用いての演習を行う。</p>

◇大学院 経済情報研究科 主要科目の特長

3 群（情報・数理系科目）

科目	特長
情報処理研究 A	地域の課題解決において、データに基づいたエビデンス(根拠)が求められています。この授業では、「地方創生」に向けた地域のデータ分析の考え方と手法を学びます。具体的には、今後活用が期待される「統計オープンデータ」を取り上げ、その入手方法、分析事例を具体例を用いて学びます。
情報処理研究 B	人工知能は、人間のように考えるコンピュータの実現を目指しますが、それに対して拡張知能という考え方があります。人間の知能をコンピュータによって補強することを試みます。この授業は、その一環として、コンピュータを使って人間のコミュニケーション力を補強するための考え方を学びます。
情報システム研究 A	人間とコンピュータが深くかかわる情報システムがいかに重要かは、システムが障害を起こしたり利用できなくなったりする度に強く認識させられる。また、社会生活のクリティカルな部分を担えば担うほど、その安全性・信頼性・頑強性が強く求められる。本講義では、情報システムの開発と運用において、システムの信頼性を導く開発手法ならびに運用方法を学び、情報システムにとって何が重要かを明らかにする。
情報システム研究 B	防災・減災の観点から、災害に強い、あるいは災害時にでも最低限の情報伝達が可能となる情報システムを設計、運用する手法を明らかにする。特に、災害時に通信が途絶えても、情報の発信、収集、蓄積、管理等、情報の伝達と処理が可能で、かつそれらの情報を効果的に共有できるような情報システムの仕組みを明らかにする。

特別研究

科目	特長
特別研究(論文指導)	研究目的に沿った修士論文の作成